第6期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	国際交流ふれ	あい事業		事業期間	平成	13 年度 ~	· — 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施する のか)			協力し、広く市民 きる人材を育成す	- 祭理解の場を提供す	することにより	、広い視野の中	で 手段 (どのような方法で 実現するのか)	国際交流ふれあ	い委員が中心とな	り、外国語指導助]手を活用し体験活	舌動や交流活動を 行	〒なう 。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民						成果 (どのような効果が 得られるのか)	《 外国語指導助手	との交流により、	市民が異文化への	理解を深め、国際	終感覚が養われる 。	
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む				を目的に2泊3日の ESS部が参画して		事業が始まりで、	・ 平成14年から16年	までは、北海道大学	学留学生を対象に	事業を行い、平成	17年度からは、砂	⊅川市のALT(ቓ	・語指導助手)や近隣市町のALT

[DO]

実績 (単位:円)

						第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 6 期
					第1年次 (23年度)	第 2 年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第 9 年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	玉		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
投	地	方	債	計 画 額				0				0					0	0
2				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
さ	そ	の	他	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
れ				実 績 額				0				0					0	0
た	_	般則	打 源	計画額	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	109, 000	109, 000	109, 000	109, 000	436, 000	1, 108, 000
				予算計上額	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	112, 000	112, 000	109, 000	333, 000	109, 000	109, 000	68, 000	68, 000	354, 000	1, 023, 000
事				実績額	69, 989	113, 963	102, 756	286, 708	108, 659	96, 961	53, 728	259, 348	90, 454	55, 018	56, 790	35, 835	238, 097	784, 153
業	事	業費1	合 計	計画額	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	109, 000	109, 000	109, 000	109, 000	436, 000	1, 108, 000
				予算計上額	112, 000	112, 000	112, 000	336, 000	112, 000	112, 000	109, 000	333, 000		109, 000		68, 000	354, 000	1, 023, 000
費				実績額	69, 989		102, 756	286, 708	108, 659	96, 961		259, 348	,		,	35, 835	238, 097	784, 153
が推	事	業費予 内容			消耗品 50,000 円 食糧費 8,000円	54,000円 消耗品 50,000 円 食糧費 8,000円	講師謝礼 54,000円 消耗品 50,000円 食糧費 8,000円		消耗品 36,000円 食糧費 10,000円	講師謝礼 66,000円 消耗品 46,000円			講師謝礼 63,000円 消耗品 46,000円	63,000円 消耗品 46,000円	22,000円 消耗品46,000円	講師謝礼 22,000円 消耗品46,000円		
移		年度予 の比東 増減理	交				前年度同額			前年度同額	講師謝礼の減		前年度同額		講師謝礼を交通 費相当としたこ とによる減			
		績との 増減理			メイン事業の中 止により講師謝 礼が減額	講師の増員に伴 い講師謝礼の増 額	消耗品費の減		講師謝礼の減、 消耗品の増	講師謝礼の減	講師謝礼の減、 消耗品の減		講師謝礼の減、 消耗品の減		講師謝礼の減、 消耗品の減	メイン事業の中止 による講師謝礼、 消耗品費の減 3 月補正 △32千円		

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:外国人の	の参加人数		指標の求め方:年	∓間延べ人数									
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:参加者の	の満足度		指標の求め方:参	参加者アンケート	で事業目的が達成	された(大人)、	楽しかった(子。	ども)と回答した	人の割合				
	指標	活動指標 1 計画值 (単位/人/延) 実績値 成果指標 1 計画値	20 12 97. 0	21	20 22 97. 0		20 24 97. 0	20 22 97. 0	20 21 100.0		20 20 100, 0	20 19 100, 0	20 21 100. 0			
	1示	成果指標 1 計画値 (単位/%) 実績値	97. 0 82. 0		97. 0 97. 0	ļ	100.0	97. 0 100. 0	100. 0		100.0	100. 0	100. 0	100. 0		
		事業の達成度(活動指標をもとに評価)	02. 0	100.0	37.0	達成されている	100.0	100.0	100.0	達成されている	100.0	100.0	100.0	100.0	ほぼ達成されている	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている				変わらない					少し上がっている	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっている				変わらない					変わらない	
		総合評価				極めて良好である				極めて良好である					良好である	
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	達 が に い 化 と を を は が に し を と れ 、 流 し し し し し し し し し し し し し	交く加てる高極も際委営事業の主ない。大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、一般では、大学といい、大学といい、一般では、大学といいいい、大学といいいい、大学といいい、大学といい、大学といい、大学といいい、大学といい、大学といい、大学といい、大学といい、大学といい、大学といい、大学といい、大学といい、大学にはいいいいいい、大学にはいいいいいいいいいいいいいい、大学にはいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	参加協力体制が 確立され市民 ニーズに合った 手法で事業展開 されている。	る。国際交流ふれあい委員会を中心に、更なる	小語学での開始参 での開始参 で開始を が開始を が開始を が開始を が開始を が開始を が開始を が開始を が	協力体制の確立 により、 参加する 事して と は 、 国際 交流 が の に と の に と の に と の に と り い し い に り い に り い 、 り い 、 の い 、 の い 、 の い の 、 の 、 の い の い の い	協に参しりれ自営の確子業で流会画好に参しりれ自営のでとおふって、あ主のでは、ないのもといいのもといいのもといいのもといいの選の選の選の選のでは、	る あ は 国 い で う は で き も お で き も お で き も お で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で き も め で も め に で き も め に の も の る る る る る る る る る る る る る	協に参しりれ自営の確子業で流会画好に参しりれ自営のでとおふの運にでいいもといいのもといいのもといいのもといいのでは、おきの運に、おいいのでは、おいいのでは、おいいのでは、おいいのでは、おいいのでは、	近協に参しりれ自営好に、あいたのでは、おいたのでは、かいたので、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、	協に参しりれ自営好れ、自営好れ、自営が表し、おいて、あま的も事い、自営が表し、表し、自営が表し、表し、自営が表し、表し、自営が表し、表し、自営が表し、表し、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が、自営が	内容を変更して の事業実施と なったため活動 指標は計画値に	計おけて事成態性わとして標しらや状率ことある。となってはあたったのはあたったのはあたったのはあたったのはあたったのはあたったのはあたったのはからである。	
	方向付改善、			 み、外国の文化や つていることから#		関状のまま継続 合いを求める市民 施する。	小学校での英語学							小学校における英 ることから、継続	現状のまま継続 注語学習がはじまっ たして実施する。	ていることをは

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	高齢者教育推	進事業			事業期間	平成	13 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	講演会を実施し、	高齢者の介護予	防に役立てる。					手段 (どのような方法で 実現するのか)	老人クラブ連合会 市民大学講演会の	会と協議し内容を の中の1講座とし	決定する。 て介護予防講演会	きを実施する。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	高齢者及び市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	介護予防の講演る	を聴くことにより	、健康管理や生き	がいづくりに繋か	いい、介護予防に行	设立つ。
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む	兄・これまで の む)	高齢者大学として 平成22年度からに	て高齢者に対する請 は、砂川市老人クラ	精演会を実施して うづ連合会と連携	こいたが、平成20年 悲し、老人クラブ研	度より市民大 修会終了後引	学講演会の1回を高 き続き講演会を実	齢者向けの講演と もすることで、たく	って実施。 さんの高齢者の参	参加を得ている。				

(単位:円)

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 6 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	合 計
	国	-	豊	計画額	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000	56, 000	56, 000	56, 000	56, 000	224, 000	560, 000
				予算計上額	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000				0	36, 000	35, 000	38, 000	38, 000	147, 000	315, 000
				実績額	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000				0	35, 000	38, 000	38, 000	0	111, 000	279, 000
	道	爹	世	計画額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	28, 000	112, 000	280, 000
				予算計上額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000				0	18, 000	17, 000	18, 000	18, 000	71, 000	155, 000
投				実績額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000				0	17, 000	18, 000	18, 000	0	53, 000	137, 000
,~	地	方 信	責	計画額				0				0					0	0
入				予算計上額				0				0					0	0
+				実績額				0				0					0	0
4	そ	の ft	也	計画額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000	28, 000	28, 000	28, 000	28, 000	112, 000	280, 000
れ				予算計上額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000				0	56, 000	57, 000	56, 000	56, 000	225, 000	309, 000
				実績額	28, 000	28, 000	28, 000	84, 000				0	58, 192	55, 747	54, 600	0	168, 539	252, 539
た	- f	般財源	原	計画額	30, 000	30, 000	30, 000	90, 000	30, 000	30, 000	30, 000	90, 000	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	120, 000	300, 000
事				予算計上額	30, 000	30, 000	30, 000	90, 000	142, 000	142, 000	142, 000	426, 000	32, 000	33, 000	30, 000	30, 000	125, 000	641, 000
				実 績 額	29, 785	29, 944	29, 795	89, 524	141, 653	141, 449	141, 704		31, 000	30, 000	30, 000	0	91, 000	605, 330
業	事業	美費 合言	H	計画額	142, 000	142, 000	142, 000	426, 000	142, 000	142, 000		426, 000	142, 000	142, 000	142, 000	142, 000	568, 000	1, 420, 000
进				予算計上額	142, 000	142, 000	142, 000	426, 000	142, 000	142, 000	,	426, 000	142, 000	142, 000	142, 000	142, 000	568, 000	1, 420, 000
貝				実績額	141, 785		141, 795	425, 524		141, 449	1 119 12 1	,	,	141, 747		0	423, 539	1, 273, 869
の	+ *	連マケィ					講師謝礼 100,000円		講師謝礼 100.000円	講師謝礼 100.000円	講師謝礼 100.000円		講師謝礼 100.000円			講師謝礼 100.000円		
.,,		費予算0 内容	ויי				消耗品 42,000				消耗品 42.000					消耗品 42,000		
推		.,,			円	Ħ	Ä		Ħ	円 円	Ħ		Ħ	Ä	円 円	円 円		
移	前年	度予算と	L		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額		
		の比較	-															
	(増	減理由)																
					同額	同額	同額		同額	同額	同額		消耗品費の増	同額	同額	事業の中止による		
		との比較				7 130			II-3 LDC	7 12.0	7 13.0		1710447			講師謝礼、消耗品		
	(増	減理由)														費の減 3月補正 △142千円		

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:事業参加	11人数		指標の求め方:年	F間延べ人数									
成果	:指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:事業の流	満足度		指標の求め方:参	参加者アンケート	で事業目的が達成	されたと回答した	-人の割合						
		活動指標 1 計画値	100	100	100		100	100	100		100	100	100	100		
	指	(単位/人/延) 実績値	96		113		98	87	90		69	70	44	_		
	標	成果指標 1 計画値	90. 0	L	90. 0		90. 0	90. 0	90. 0		90. 0	90. 0	90. 0	90. 0		
		(単位/%) 実績値	100.0	97. 9	94. 4		91. 2	97. 6	100. 0		84. 0	57. 2	100. 0			
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					ほぼ達成されている	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				少し上がっている					少し上がっている	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価				良好である				良好である					良好である	
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	ブしや行た研き開で、事っ、修結催、まず引を はいまり できる と が いまり できる と が いまり できる	り、講演会の参 加者がことから いることのの たくさんの 着の学びの機会	とで講演会の参加者が学びるというではいますがかける。	き、介護予防に	老会リたすのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま	連合会会を連携内容を表演を表表の研研による。 を表演を開発を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	連二書を会りが業ると会の、唯二書を会りが業ると会の、他高さていている。との、他高さていている。とない、他高さい、のでは、からないがまる。	判介か体とのて選老会こズ足と好断護記機い講いで人とにを度なといった場所である二た事りにのです。 いいしん にいき ないり はい いって さい いって という いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	連てを会りが業慮各には強ってを会りが業慮をにし指はと連の、畑なて標がさいがなて標がばないがばながばながばながはないがばなががばながはないがばながはないがばなががばなががばなががばない。	講か連てを会りが業慮各に いた のと 一 に のと 一 連の、保 高 き 名 会 前 高 会 点 に し に し に し に し た と 会 し げ に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	連合講権という。 連合講権を受けてきなりが業庫がませた。 を会り、唯一のできなのでは、は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	連てを会る高きて新ル響中め当なと会演査のと者よ画コ感よと各る高きのと者よ画コ感よと各る、強ない作名がうし口染りな指実をのし者よのコミッとのが見いな指実をした。	たか 大 で 大 で で に で に で に に に に に に に に に に に に に	
			H25 :			現状のまま継続	H28 :			現状のまま継続	H30 :				現状のまま継続	
	改善、	生の判断理由 改革の内容 、H28、H30)	高齢者のニーズに 足度も高いこと <i>た</i>	に応じた講演会を! から、継続して事!	実施することで、 業を実施する。	参加者も多く満	参加者数が多く、	満足度も高いた	め継続して事業を		あるが、介護予修 寧に把握しながら あっては参加者	ちにつながる学習も 事業を展開し、	機会の確保は高齢 事業の満足度を向 得ない情勢になっ	者教育の推進にと 上させることによ	よって事業の満り、 で重要で減少がもいり、 りて、人のではあかがまた。 で程度の参加者は	学習ニーズを丁 想される中に

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	オアシス通信	発行事業			事業期間	平成	8 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	市民自らが学習意 する。また、オア	気欲を高め、主体 プシス通信を通し	的に学習活動に参う て各団体と社会教	加することができ 育行政の関係を引	きるように市民に親 鱼化していく。	見しみと関心の	持てる情報を提供	手段 (どのような方法で 実現するのか)	各保育所、幼稚[公共施設、市内	園、各小中学校の 各企業、町内会等	全児童、生徒、老 に職員が手渡して	き人クラブに配布。 ぎ配布。各町内会に	こは回覧を依頼し ⁻	ている。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	地域、家庭、学	校との連携を深め	、学校行事や地域	战行事、社会教育事	『業への積極的参加	口が促進される。
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む			町内会への回覧を開家庭教育サポート』			るようになっ	<i>t</i> c.							

[DO]

実績

(単位:円)

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 6 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	合 計
	国	費	H: []				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
投			実 績 額				0				0					0	0
100	地方	方 債	H: []				0				0					0	0
入			予算計上額				0				0					0	0
4			実績額				0				0					0	0
2	そ 0	の他					0				0					0	0
れ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
た	— 般	財源		840, 000		840, 000	, ,	843, 000	843, 000	843, 000		817, 000	,				8, 317, 000
事			予算計上額	840, 000	,	794, 000	2, 428, 000	843, 000	843, 000	,	2, 529, 000	817, 000	817, 000		,	3, 291, 000	8, 248, 000
			実績額	806, 400	793, 800	793, 800	2, 394, 000	842, 400	842, 400	842, 400	2, 527, 200	816, 480	816, 480	824, 040	831, 600	3, 288, 600	8, 209, 800
業	事業費	費合 計		840, 000	840, 000	840, 000	2, 520, 000	843, 000	843, 000	843, 000	2, 529, 000	817, 000	817, 000	817, 000	817, 000	3, 268, 000	8, 317, 000
200			予算計上額	840, 000		794, 000	2, 428, 000	843, 000	843, 000	843, 000	2, 529, 000	817, 000	817, 000				8, 248, 000
費			実績額	806, 400	,	793, 800	2, 394, 000	842, 400	,	842, 400	2, 527, 200	,	,	,	,	3, 288, 600	8, 209, 800
0	事業費	予算の		印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費		印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費		印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費	印刷製本費		
推	P 3																
移	前年度 の比 (増減				見積もりによる 減額	同額		見積もりによる 増額	同額	同額		発行部数見直し による減	同額	消費税率の引き 上げ予定による 増	消費税率引き上 げによる増		
	実績と (増減	の比較 (理由)			見積もり合わせ による滅	同額		見積もり合わせ による減	見積もり合わせ による滅	同額		見積もり合わせ による減	見積もり合わせ による滅	見積もり合わせによる減	同額		

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:オアシス	ス通信発行部数		指標の求め方:月	の発行部数									
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:町内会の	の配布率		指標の求め方: 酉	己布町内会数/町内	会数								
	指	活動指標 1 計画値 (単位/部) 実績値	3, 200 3, 200	L	3, 200 3, 200		3, 200 3, 200	3, 200 3, 200	3, 200 3, 200		3, 200 3, 100	3, 200 3, 100	3, 200 3, 100	3, 200 3, 100		
		成果指標 1 計画値	100. 0	,	100. 0		100. 0	100. 0	100. 0		100. 0	100. 0	100. 0	100. 0		
		(単位/%) 実績値	100. 0	100. 0	100. 0		100. 0	100. 0	100. 0		100. 0	100. 0	100. 0	100. 0		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				達成されている					ほぼ達成されている	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない					少し上がっている	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている				変わらない					変わらない	
		総合評価				良好である				良好である					良好である	
事務事業評価	評価内容		人紹で意知段ス語動と習さうア をすりという。 をするほ学ものできる。 をできた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。	かする紙のでは、おかりの紙のでは、名のでは、名のででは、ないでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	められる生涯学 智情いきを いるない いるの は と で の 紹 会 や や を り を り を り を り を り を り を り を り を り	で配布するこの広で解析するこの広で解析で、も報行には関係している。	町内会での回覧 や家庭教育サポート企業人 で、保育園、 で、保育園、 で、大クラブなど	る提とれわ布と完発 に は は は は に な に は に は に に に に に に に に に に に に に	提供する広報された。 は、このでは、 は、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	建報 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	提とれが配こ完媒果活団介り習る供し、わ布と的体が動体す、活構すて広」手でなどあにやる主動成「異と相報で、り人とななる認報と段、情しり取個こ体にとあにやる主動成」とは、現代では、対していない。 は、 なるる補信効智む紹よ学がよる。	生提とれが配こ完媒果活団介り習るう 選供し、わ布と的体が動はす、活構配 習る認報と段、情しり取個こ体にとし 情広臓「異と相報で、り人と的つなた 関係を表したのなが、できま動成値、 関係では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	提とれが配こ完媒果活団介り習るうに供して、わ布との体が動体やる主動成虚でとしてななるので、お手でなとあにやる主動成虚にとした戦に異と相報で、り人と的つなた、戦に異と相報で、り組をにななるに、戦に異と相報で、り組をにななるのが出るにななる人と的つなた、対している。	提とれが配こ完媒果活団校介り面横とれが配こ完媒果活団校介り面横り、株の中でからが動味で発生のに、手でなどあにや係る幅成・翼と相報で、り人事と広内を輸売・翼と相報で、リケールを観で、東でするで、大大大・大大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	値たのおはて業果状率化とあるは、実り計いのは態性していました。 という はい	
			H25: 地域に密着した道 で、地域活動がる	通信として、身近; さらに活発化する。	な情報や活動を広 ことを目指し継続	現状のまま継続 く周知すること する。	H28: 地域に密着した道 で、地域活動がる	通信として、身近 さらに活発化する						、生涯学習に取り 夫をしつつ継続す	現状のまま継続 組むきっかけづく る。	りにつなげるこ
	改善、	生の判断理由 改革の内容 、H28、H30)														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	青年教育事業				事業期間	平成	18 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業	6-2-2					所管課係	社会教育課社会教育係
(何のために実施する	ことを市民に知っ	ってもらい、仲間	の課題等に際し、 づくりを通じて自 極的な参画を促す	己の存在と価値	・ や社会変化等に対応 を再認し、所属感 <i>を</i>	なするための役 そ得つつ、自己	・ に立つ手段である。 の確立、地域振	(どのような方法で 実現するのか)	①コミュニケー ②企業を訪問し ③青年同士が日	・クショップを行う ションを図るワー て行う職業ワーク ごろの思いを交流 ラブや青年会議所	クショップ ショップ する青年ワークシ	/ョップ - て実践的ワークシ	ィョップ	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内在住又は市内	9企業に勤務する	青年					成果 (どのような効果が 得られるのか)	仲間作りの場とな	なる。 づくりへの参画促:	進が図られる。			
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む		平成19年度から行	各企業に声かけを行	うい参加者を募り	集している。平成23	年度からは家	庭教育サポート企業	* との連携開始。平	☑成29年度より3	実施事業ではなく	相談事業として事	業形態を変更して	実施。	

[DO]

実績 (単位:円)

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 6 期
				第1年次 (23年度)	第 2 年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第 9 年次 (31・R元年度)	第10年次 (R2年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
投	地	方 債	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
*	そ	の他	計画額				0	200, 000	200, 000	200, 000	600, 000					0	600, 000
			予算計上額		60, 000	100, 000	160, 000				0					0	160, 000
れ			実 績 額	60, 000	60, 000	100, 000	220, 000				0					0	220, 000
た	_	般 財源	計画額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	1, 000	1, 000	1,000	3, 000					0	183, 000
/-			予算計上額	60, 000	1,000	1, 000	62, 000	201, 000	000,000	123, 000	624, 000					0	686, 000
事			実 績 額	144	173	374	691	180, 079	0	73, 741	253, 820					0	254, 511
	事	業費合計	計画額	60, 000	60, 000	60, 000	180, 000	201, 000	201, 000	201, 000	603, 000	0	0	0	0	0	783, 000
美			予算計上額	60, 000	61, 000	101, 000	222, 000	201, 000	300, 000		624, 000	0	0	0	0	0	846, 000
費			実 績 額	60, 144		100, 374	220, 691	180, 079		73, 741	253, 820	0	0	0	0	0	474, 511
の推移	事第	美費予算の 内容		20,000円 消耗品 20,000 円 借上げ料 20,000円	20,000円 消耗品41,000円			120,000円 消耗品35,000円 印刷製本20,000 円 手数料26,000円									
139		F度予算と の比較 曽減理由)		前年度同額	消耗品費の増	講師謝礼の増		料の増	講師謝礼、消耗品の増	消耗品の増							
		責との比較 曽減理由)		同額	同額	同額		印刷製本費の減	青年団体自主事 業として実施	講師謝礼の減、 消耗品の減							

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:参加人数	数		指標の求め方:参	参加登録人数									
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:事業の流			指標の求め方:参	参加者アンケート	で事業目的が達成	されたと回答した	-人の割合						
	指	活動指標 1 計画値 (単位/人/延) 実績値	25 29		25 28		25 35	25 25	25 15		25	25	25	25		
	標	成果指標 1 計画値 (単位/%) 実績値	100. 0 100. 0		100. 0 100. 0		100. 0 100. 0	100. 0 100. 0	100. 0 100. 0		100. 0	100. 0	100.0	100. 0		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている					あまり達成されていない	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない					あまり上がってい ない	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている				あまり上がってい ない					変わらない	
		総合評価				良好である				普通である					普通である	
事務事業評価	評価内容			流が深まり、継 続して参加する 青年が増加する 傾向が見えてき	家庭教育ける。 家庭教業とは、 なまりをいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	で参加しやすい 職場環境の整備 が図られてい る。参加者アン ケートからも 価は高いことか	参くはみちにはなった。	自主的な地域と リストリング リストリンが リスを リスを リスを リスを リスを リスを リスを リスを リスを リスを	い各回も内容を 変え広報なども 様々な工夫を凝 らしながら行っ	いが実加に事り、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	二時事た該は平い件が一番を設定を持ち、 一相業へからなの。年間のでは、一本ののでは、一本のの当なの。年間のでは、一本のでは、一本のには、一本のでは、一は	青二時事た該は平い件が二活仕相集の当なでに値 お案 習たるは中で大きた。年、か年に支と制の学にでして、一動組談体にはなる。年、か年に支と制をでして、一動組談体には移る。。年、か年に支と制をでして、一動組談体でした。	ニ時事た該は令い件がニ活仕 イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事た該は令い件が二活仕相る へ、すい。 を 等め すい。 に が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等に 変と が 等し に 数と り に を り に り を り と り と り と り と り と り と り と り と り と	直ら成当い達はいトな性青ズに、 大塚 はいトな性情との は、 大塚 は、 大塚 は、 大塚 は、 大塚 は、 大塚 は、 大塚 またが は、 大塚 は、 から は、	
		今後の方向性				現状のまま継続				手段の見直し					現状のまま継続	
	改善、			■ きる人材の育成を 引き続き継続して!			化の中で、同年化	代の集まりに参加 りための参加者の	ションの取り方や しようと言う考え 確保をどのように	方が失われつつ	めているが、実紀 「現在、学びたい づくりな知識や技能 困難であることが	責には結びついていことはあります; こ対する意識とい 作の習得を求めて	いない。第71回成か?」という第1回成問うよりは、英語でいる。 うよりない、英語、 いるものとなられ よる事業ではなく	人式の参加者に対 に対する回答結果 法律、介護や作業 る。この学習環境 、青年の学びに対	F伝え、このしくみ おけして実施したアン。 基を見ると、地域の 養療法など仕事に直 養を教育行政が整備 する後押しができ	ケート調査で 課題解決やまち 結するような実 するのは非常に

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	成人式運営事	業			事業期間	昭和	23 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	人生に有意義な変	で化と折り目をつ	け、厳粛で清新な	気分を味わい、新	新しい生活の展開へ	の動機付けと	なる場とする。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	新成人で世話人会 運営を行う。	会を組織し、世話	人会が成人式で行	テいたい企画を地域	成の人材で組織され	れた運営ボランティアで協議し、
対象 (誰・何を対象として いるのか)	新成人、市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	ことができる。	く新成人と地域の 郷砂川に対する誇			での新成人に対し [、]	て主体として式参加の自覚を促す
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む						ィートロード	との連携により市	- 内のお菓子を提供す	るようになり保証	養者の参加も増加	している。			

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	一画		第 6 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
				(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	Ta at
	国	費					0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
投	地	方 債	計画額				0				0					0	0
拉			予算計上額				0				0					0	0
入			実 績 額				0				0					0	0
	そ	の他	計画額				0				0					0	0
2			予算計上額				0				0					0	0
ħ.			実績額				0				0					0	0
.,,	- f	般 財源		224, 000	,	224, 000	,	207, 000		207, 000	621, 000	163, 000	207, 000	,	207, 000	784, 000	2, 077, 000
た			予算計上額	224, 000	212, 000	207, 000	643, 000	175, 000	179, 000	155, 000	509, 000	163, 000	195, 000	189, 000	196, 000	743, 000	1, 895, 000
+			実績額	221, 016	203, 171	166, 001	590, 188	172, 676	176, 371	135, 714	484, 761	146, 807	190, 049	184, 986	25, 068	546, 910	1, 621, 859
争	事業	養合計	計画額	224, 000	,	224, 000	672, 000	207, 000	207, 000		621, 000	163, 000	207, 000		207, 000	784, 000	2, 077, 000
業			予算計上額	224, 000	,	207, 000	643, 000	175, 000	179, 000		509, 000	163, 000		,	196, 000	743, 000	1, 895, 000
			実績額	221, 016		166, 001	590, 188	172, 676	176, 371		,		190, 049		25, 068	546, 910	1, 621, 859
費の推移		養予算の 内容		10,000円 食糧費 179,000円 印刷製本費 35,000円	30,000円 食糧費 154,000円 印刷製本費 28,000円	消耗品 20,000円 食糧費 159,000円 印刷製本費 28,000円		消耗品 20,000円 食糧費 153,000円 印刷製本費 1,190円	消耗品 20,000円 食糧費 157,000円 印刷製本費 1,190円	消耗品 20,000円 食糧費 133,000円 印刷製本費 2,000円		食糧費 141,000円 印刷製本費 2,000円	食糧費 173,000円 印刷製本費 1,470円	40,000円 食糧費 147,000円 印刷製本費 1,260円	消耗品 49,000円 食糧費 145,000円 印刷製本費 1,520円		
	(増	度予算との比較		食糧費の増減が ある		消耗品費の減という数により食糧費の増減がある。 消耗品費と印刷製本費の減		印刷製本費の減 と対象人数によ る食糧費の増減 がある。 食糧費の減	対象人数により食糧費の増減がある	対象人数により食糧費の増減がある		対象人数により食糧費の増減がある	印刷製本費、食 糧費の増減があ る	する一方、対象 人数の減により 増減がある 食糧費の減	追加及び案内封		
	(増	[減理由)													種質の減 3月 補正 △168千円		

(単位:円)

活動	指標 1	(「手段	」をもとに	設定)	指標名:地域住民	民の参画人数		指標の求め方:沿	動に参画する新	成人世話人会・運	営ボランティアの	D人数						
成果	. 指標 1	(「成果	」をもとに	設定)	指標名:新成人の	の参加率		指標の求め方:新	f成人参加人数/	新成人参加対象数								
	指	活動指標 (単位/		計画値実績値	35 24				35 16		40 20		40 15	40 11	40 9	40 17		
	標	成果指植		計画値	75. 0	L	75. 0		75. 0	1	80. 0		80. 0	80. 0	80. 0	80. 0		
		(単位/		実績値	65. 0	72. 3	74. 6		75. 9	73. 7	73. 6		69. 9	71. 9	76. 3	_		
		事業の選 (活動指	達成度 指標をもと	に評価)				あまり達成されていない				ほぼ達成されている					あまり達成されていない	
		事業の原 (成果指	成果 i標をもと	に評価)				少し上がっている				変わらない					少し上がっている	
		事業の交 (事業費	効率性 に対する	成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価	価					良好である				良好である					普通である	
事務事業評価	評価内容		総合評析 理中 まれ る自己分	亜の判断には関す	い人た出ありるきるといくなが成にりや愛るい企人残、細着事ではも間に確定を開いて対認な仲土を変している。	た人人いのし校確に人人いのし校確によりです。 たんしょう かまる しんの 自 知識 自 知識 自 知識 自 知識 自 出版 少小人と かくが まんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんしんしん はんしん はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	く、新成人や地域住民が主体的に運営する成人式が実施されて	のし人やテ況こ判し、	会を組織し、にないないない。 大変を組織し、たいないないではないでは、はいいないでは、 はないないないないないないないないないないないないないないないない。 はいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	していないが、 成人参加率は好 調である。	く、新成人や地 域住民が主体的 に運営する成人	世話人ボランティアの流では、大でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	や運営ボラン ティアを十分に 確保できていな い状態はある	り新減少傾向 が減が、人が高が成り が成が成り が成り が成り が は い は い は い は い は い は い は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	少に話に的業ら制にの業ら制にの業のがよ人のにの参ががので連び、人段をできない。ののののののでは、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間では、人間	話に人業ら制らるウの人な果がない。 おいまな かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい か	ボーなので果面に一が方きな全テ確め度いが近こ成い率化としって果面を回て効変にが近こ成い率化としない様にいかばこる成い率化としかて、はが概いと果られるがが一ができまり、おかが一がしかです。	
		今後のス	方向性					手段の見直し				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	生の判断 改革の 5、H28、	内容		H25: 多くの新成人が世 世話人の募集や選 要。	・ 世話人として企画) 軍営ボランティアの	運営に携わること の関わり方につい	ができるよう、	H28: 新成人の企画した く方式を今後も#	・ た成人式を地域住. 継続させる。	民が助言指導しな	がら実施してい	H30: 新成人が事業の1 継続して実施する	⊵画段階から参画 5。	しながら実施する	方式は本市の特徴	的な手法であるこ	とから、今後も

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	楽習の達人事	業(学習相談	(事業)		事業期間	平成	5 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課社会教育係
目的 (何のために実施するのか)	市民自らが学習意	意欲を高め、主体	的に生涯学習を行	うことができるヨ	環境整備を図る。			手段 (どのような方法で 実現するのか)		を行っている人の* の要望に応じた情			日容、各種事業で活	5用した講師経歴などの情報一覧
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民が学ぶ楽しる学びの成果を生た	さを知り、学習意 かした知識の還元	欲が高まる。 や地域リーダ <i>ーの</i>)発掘・育成が図ら	れる。	
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含さ	況・これまで の む)	平成13年から「導 平成20年から「	楽習の達人」に名称 学校支援地域本部	かを変更 事業」が始まり、	習指導者」の名称で グループサークル いることから、平	や市内企業と			事業内容の拡充を	を行う。				

[DO]

実績

(単位:円)

			カ・ハ天池	3 カ年計画			弗 2 次美施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	- 画		第 6 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
		(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	合 計
国	費 計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
道	費 計画額				0				0					0	0
	予算計上額				0				0					0	0
投	実 績 額				0				0					0	0
地方個	責計 画額				0				0					0	0
入	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
さその他	也 計画額				0				0					0	0
l n	予算計上額				0				0					0	0
	実 績 額				0				0					0	0
た 一般財源	原計画額				0				0					0	0
車	予算計上額				0				0					0	0
#	実 績 額				0				0					0	0
業事業費合計	計計画額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200-	予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賀	実 績 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
の 事業費予算の	7)														
推内容															
移 前年度予算と	٤														
の比較															
(増減理由)															
m/# L o ll t															
実績との比較 (増減理由)	段														
(相//火生田)															

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:学習相談	炎を受けた件数		指標の求め方:常	学校支援や家庭教	育サポート企業か	らの学習相談を含	含めた学習相談受理	里件数					
成果	. 指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:学習支持	爰を受けた人の満	足度	指標の求め方:和	川用者アンケート	で事業目的が達成	されたと回答した	-人の割合						
		活動指標 1 (単位/人/延) 実績値 成果指標 1 (単位/%) 計画値 実績値 事業の達成度	30 38 100.0 —	30 17 100. 0	30 10 100. 0	あまり達成されていない	40 10 100. 0 100. 0	40 10 100. 0	40 10 100. 0 100. 0	あまり達成されていない	40 13 100. 0 100. 0	40 13 100. 0 100. 0	40 5 100. 0	40 5 100. 0 60. 0	あまり達成されていない	
		(活動指標をもとに評価) 事業の成果 (成果指標をもとに評価) 事業の効率性 (事業費に対する成果)				あまり上がってい ない あまり上がってい ない				変わらない 変わらない					少し上がっている 変わらない	
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	者いがる民中では、プラウン・マックの、日本では、アウン・マックでは、アウン・マックでは、アウン・マックでは、アウン・マック・アウン・マック・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン・アウン	習団を事るで、ど談 いア出めてとなったが実績値を事るで、 このでは、		利用頻度が極め て低い正成25年 度より市民の ニーズに応じた	市応事公サ教業のおいてはいる。一部では、大きな、大きなでは、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	て機能しており、相談後の反応も良好であ	ケースもある が、反応はおお むね良好であ る。	様習関師がすが紹のれている体では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	じてにい比件し 相り及、すはが 較大 がで年と干 がで年と を動い度 受 歯 い を 動い を も が を も が を も は が を も に る に る も も る も も も も も も も も も も も も	市習じてにい比件数にいいと件数は、大学をはない。 中間 りん いっぱい ないがい ないがい ないがい ないがい ひがい ない できる 子間 いき できる 子間 いき いい	習じてはないでも、一ズ談・計でではないでも、一次である。にない、ではないでもある。は、から、ではないのである。は、から、では、から、では、から、では、から、では、から、では、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、から、	計画値にはないではないではないではないでの多様にはがくないではないできないできます。これではいいではないではないではないではないではないではないではないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	値た業好成値一がときたのつ事良、画りあ 大いあにないまにこのでは指達に成い率化普通での対象で、またが計るが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、また	
	方向竹改善、		や砂川市家庭教育	と習の達人制度を 有サポート企業な そのニーズに応じ	どと連携して、生	涯学習情報の共	H28: 相談者の感想は 員 声も聞かれるた&	良好だが、どこに り、広報手段を考	相談していいか分 える必要がある。	現状のまま継続からないという	H30: 生涯学習に取りま ら継続して実施で	目むきっかけづく ける必要がある。	りとしても重要な	仕組みであること	現状のまま継続	周知を図りなが

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	読書活動推進	事業			事業期間	昭和	58 年度 ~	· — 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施するのか)	読書の普及・啓乳な学習活動を支援	きに係る事業を実 爰するとともに図	施することにより、 書館の利用拡大を[、読書に親しむ材 図る。	機会が得られ、子と	ごもの読書習慣	の定着化や自主	手段 (どのような方法で実現するのか)	学校における読	書推進(学校図書	館支援、授業にお	おける図書館利用な	まど)	、読書週間事業など) ホームページの更新など)
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	読書を習慣とす	関心を持つ市民が る子どもが拡大さ る市民が拡大され	れる			
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む	兄・これまで の ^{ご)}	図書館事業とし ⁷ 平成19年度から	ては、現図書館が は学校における読書	閉館した昭和58年 書推進を開始した	を度よりボランティ こ。また、開館当時	ア活用事業、 からこれらの	おはなし会、巡[取り組みに係る』	①文庫、平成4年度。 5報活動も開始し、	り読書週間事業、 社会の要請や時代	平成16年度より孚 のニーズ等に応じ	.児健診利活用事: で目的を見直し、	業といった読書推 これに沿って実旅	進事業を開始した 晒時期、場所、内容	。 字を変更しつつ現在に至っている。

[DO]

実績															(単位:円)
			第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 6 期
		第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
		(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(32年度)	合 計	合 計
玉	費計画額				0				0					0	0

					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(32年度)	合 計	合 計
	国	費		画 額				0				0					0	0
				計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
	道	費	計i	画 額				0				0					0	0
			予算:	計上額				0				0					0	0
投	با		実	績 額				0				0					0	0
13	地	方 債	計i	画 額				0				0					0	0
入	.		予算:	計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
2	そ	の他	b 計 i	画額				0				0					0	0
ħ	L		予算	計上額				0				0					0	0
			実	績 額				0				0					0	0
<i>t</i> =	: =	般 財 源	計 i	画 額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
=	,		予算:	計上額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
#	•		実	績 額	14, 700	15, 000	3, 350	33, 050	8, 500	0	14, 688	23, 188	6, 960	0	0	9, 647	16, 607	72, 845
業	事	業費合計	t 計 i	画 額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
			予算:	計上額	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	45, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	60, 000	150, 000
費	Ċ		実	績 額	14, 700	15, 000	3, 350	33, 050	8, 500	0	14, 688	23, 188	6, 960	0	0	9, 647	16, 607	72, 845
σ					読み聞かせ用品	読み聞かせ用品	読み聞かせ用品			読み聞かせ用品			読み聞かせ用品					
0,	事	業費予算の			購入	購入	購入		購入	購入	購入		購入	購入	購入	購入		
推	Ė	内容																
I.e	, ├				前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額		
移	前	年度予算と	:		III I I I I I I I I I I I I I I I I I	13 1 21-3136	193 T 120 193 ER		15 T X 15 15K	1121-111	03 1 2 1-3 ax		13 1 × 1-3 15K	13 1 20 13 13	1121-111	133 1 72 1-3 ER		
	(の比較 増減理由)																
		1/// 王田/					*		+1 4==n		+1 (= =0		41 /= =D			±1. (= =0		
	-	خار م البغ <i>ز</i>			同額	同額	執行残		執行残	未執行	執行残		執行残	未執行	未執行	執行残		
	美(績との比較 増減理由)	Ž.															
		- HW-EH/																
											t .	Q	0				U.	

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:図書館行	_丁 事開催数		指標の求め方: 図	図書館行事を開催	した回数								
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:市民一人	人当たり図書貸出	し冊数	指標の求め方:年	F間貸出冊数/年度	[末人口								
		活動指標 1 計画値	30				30	30	30		30					
	指標	(単位/回) 実績値 成里指標 1 計画値	29 3. 9		51 4. 1		44 4, 2	47	59 4. 4		61 4. 5	81 4. 6		••		
	175	成果指標 1 計画値 (単位/冊) 実績値	3.9		4. I 4. 1		4. 2	4. 3 3. 8	4. 4		4. 5 3. 9	4. o 3. 7	4. <i>1</i> 3. 8			
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)	0.0	0.7	1. 1	達成されている		0.0	0.0	達成されている	0.0	0. 1	0.0	2.0	達成されている	
		事業の成果				あまり上がってい				あまり上がってい					あまり上がってい	
		(成果指標をもとに評価) 事業の効率性				ない				ない					ない	
		(事業費に対する成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価	4101	4 7 V IS	+ = V IC	問題がある		+ = 0 Is	A IC	普通である	4 - 0 15	+ = v Is	v Is	4 = 0 Is	普通である	
事務事業評価	評価内容		であるのにより 72,163冊として 2.496減少市の民 103がより数は 103がより数は 103で 103で 103で 103で 103で 103で 103で 103で	年間度 72、263冊 度72、263冊 度72、263冊 であるのに 477冊 と約 6.6% 減少 見して おり、りの計の 日間 間 下の 日間 値 を 下の この計 に いる。	おり、市民1人 当たりの年間間 出冊数も計達 成。1回あたた の貸出冊数をを5 冊から10冊に増	り約並い人出をいる. の3.4が移っている. 出冊で移っている. 出冊では、りの目とろっている. がより、たちの目ととのででである. がより、たちででである。 はは年でしている. でである。 では、いたのとしている. では、かたるである。 はははは、たちでは、たちでは、たちでは、たちでは、たちでは、たちでは、たちでは、	年間存金 (1) 年間 (1) 年間 (1) 日間 (1	前年度74,971冊 であるのに対 し、67,133冊と 10.5%減少お り、市民1人当	前のでし、133冊年度67,133冊年度67,133冊年度67,133冊年度67,17世元年間でし、4%本の日間では、17世元年間では、19数の一定に開きに、19数の一定に開きた。19数の日本の19世紀を、19数の日本の19世紀を、19月15日で、	冊 こあすれ ~ 耐でししとろっるで11 震なたまい月改民ことろっるで11 震なにと思いる。 [はい公修館がいたとないを記されたとない。	前年度66,172冊 であるのにという 66,502冊かとしいる。 い5%増市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市民年、 当市、 当市、 当市、 もりの、 もりの、 もりの、 もりの、 もりの、 もりの、 もりの、 もの、 もの、 もの、 もの、 もの、 もの、 もの、 もの、 もの、 も	前年度66,502冊 であるのに対 し、63,794冊 4.0%減少し人 り、市民一人貸 たりの年間値 冊数も計画値を	前をほる。794冊 年度63、794冊 た63、592冊 り。3%減のな民年の、3%減のな民年の、100 以りのは、100 以りのは、増加 は増加 は、100 は 100 は 100 も	でしたな民間、 1 の の い 対	りか りの2.8 が は 出で が は ので は ので が も の に が も の と の に が も の に で 様 に で 様 に で 様 に で 様 に で 様 に に を ま の だ と あ っ で を は な に で 様 に に で 様 に に で 様 に に で 様 に に で 様 に に で 様 に も に に も も も に も に も も も も も も も も も も も も も	
		今後の方向性				手段の見直し				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	ナの判析理中	を鑑み、平成25年	人当たりの貸出冊 非度より一人当た 計に増やし、読書	りの貸出冊数を5	冊以内としてい	催数は目標値を」	L回っており、行	を下回っているが 事参加者におおむ 書環境の充実を図	ね好評であるこ	H30: 市民一人当たりの参加者におおむね	D貸出冊数は目標 a好評であること	● を下回っているが から、現状を維持	・ パ、図書館行事開作 する方向で読書班	≝数は目標値を上回 環境の充実を図る。	っており、行事

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	子ども読書活	動推進事業			事業期間	平成	23 年度	~ — 年度					
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-2	他に関連す。 基本事業					 所管課係	図書館管理係
目的 (何のために実施するのか)	子どもが「いつて 書活動をみんなて	きも」、「どこで き支え、読書を通	も」、「だれでも じて子どもが自主	」読書に親しみ、 的に読書活動がで	読書の大切さを失 ざきる環境を創出す	ロることができ ける。	るよう子どもの	読 手段 (どのような方法 実現するのか)	子ども読書活動で ブックスタート	を支えるボランテ に対する学校、家 、ブックプレゼン 読書活動の環境整	庭、地域における ト事業の実施		等の支援
対象 (誰・何を対象として いるのか)	18歳未満の市民							成果 (どのような効! 得られるのか)	読書を自発的に 図書館に来館す	行う子どもが拡大 る子どもが拡大さ	される れる		
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む		平成23年度を開め	台年度とする砂川 ī	市子ども読書活動	推進計画の計上事	業として事業	の実施、あるい	は検討を開始し、⋮	在に至っている。				

[DO]

実績 (単位:円)

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 6 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(32年度)	合 計	合 計
	国	費	F:				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
投			実績額				0				0					0	0
,^	地方	5 債	計画額				0				0					0	0
入			予算計上額				0				0					0	0
+			実 績 額				0				0					0	0
₹	そ σ	の他	計画額				0				0					0	0
れ			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
た	一般	財源		181, 000	,			341, 000	305, 000			278, 000	,				4, 247, 000
事			予算計上額	181, 000				345, 000	284, 000			278, 000	277, 000				2, 817, 000
			実 績 額	145, 990				342, 068	283, 064			277, 574					2, 774, 044
業	事業費	き合 計	計画額	181, 000	973, 000		2, 127, 000		305, 000	341, 000	987, 000	278, 000					4, 247, 000
200			予算計上額	181, 000	,				,		900, 000		· ·				2, 817, 000
費			実 績 額	145, 990	,	,	799, 008		283, 064	270, 548	895, 680	277, 574	,	,		1, 079, 356	2, 774, 044
の推	事業費	予算の容			パック購入費	ブックスタート パック購入費 講師謝礼		ブックスタート パック購入費 先進地視察	ブックスタート パック購入費	ブックスタート パック購入費					ブックスタート パック購入費		
移	前年度 の日 (増減:				ブックスタート 実施回数の増	講師謝礼の削減		先進地視察のた めの予算の増	先進地視察のた めの予算の減	ブックスタート 見積もり人数の 減		絵本単価、パッ ク単価の増		ブックスタート 見積もり人数の 減			
	実績と (増減			執行残	執行残	執行残		執行残	執行残	執行残		執行残	執行残	執行残	執行残		

活動技	旨標 1	(「手段」を	もとに設定)	指標名:子どもi 催回数	読書活動推進ボラ	ンティア研修開	指標の求め方:年	∓間2回開催予定									
成果	旨標 1	(「成果」を	もとに設定)	指標名:一日当力	こり読書を全くしな	い小学生の割合	指標の求め方:슄	全国学力・学習状	況調査実績値								
活動技	旨標 2			指標名:子ども記	売書活動関連通信	紙発行回数	指標の求め方:毎	再月1回発行予定									
成果	旨標 2	!		指標名:一日当力	こり読書を全くしな	い中学生の割合	指標の求め方:슄	全国学力・学習状	況調査実績値								
活動技	旨標 3	1		指標名:ブックス	スタート書籍配布。	人数	指標の求め方: 郛	1.児健診受診者数									
成果排	旨標 3	1		指標名:			指標の求め方:										
		活動指標 1	計画値	2	2	2		2	2	2		2	2	2	2		
		(単位/回	実績値	2	·	1		1	0	0		0	0	0	Ů		
		成果指標 1	計画値	31. 2	L	29. 2		28. 2	27. 2	L		25. 2	24. 2	23. 2	L		
		(単位/%	人根框	32. 7	27. 0	37. 1		36. 1	21. 2	27. 8		43. 4	27. 8	28. 3	33. 9		
	٠.	活動指標 2 (単位/回	計画値	12 12		12 12		12	12 12	12 12		12 12		12 12			
	指標	成果指標 2) 実績値 計画値	49. 7	46. 7	43. 7		40. 7	37. 7	34. 7		31.7	28. 7	25. 7	20. 7		
	12%	成果指標 2 (単位/%		46. 3	L	49. 1		41. 1	39. 7	45. 7		50. 0	50. 0	31.5	39.3		
		活動指標3	計画値	128		128		128	128	128		128	128	128			
		(単位/人		46		101		102	93	90		88	101	78			
		成果指標3	計画値		101										,,,		
			実績値										l				
		事業の達成/ (活動指標を	度 : もとに評価)				達成されている				達成されている					達成されている	
		事業の成果 (成果指標を	きもとに評価)				あまり上がってい ない				少し上がっている					あまり上がってい ない	
事							変わらない				変わらない					変わらない	
務							普通である				良好である					普通である	
挘				自己分析: 読書する時間を	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	判断理由:	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	判断理由:	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	自己分析: 読書をする時間	判断理由:	
事				持たない小中学 生の割合が微増	を持たない小学 生の割合は減少	を持たない小学 生・中学生の割	調査の結果で、平成24年度における 読書する時間を持	を持たない小学 生・中学生の割	を持たない小学生の割合は減少	を持たない小学 生・中学生の割	況調査の結果 で、平成28年度 における読書す	を持たない小学 生・中学生の割	を持たない小学 生・中学生の割	を持たない小学生の割合が増加	を持たない小学生・中学生の割	全別でに対しています。 全国調、お時間を小りでは、 でにるい割では、 でにるい割では、 でにるい割では、 でにるい割では、 でにるいませい。 でにるいませい。 でになるいませい。 は24・2・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・	
業	評価			クスタート事業を11日に開始し	が、中学生の割合が増大し、計	画値を下回って いる 平成24年	たない児童・生徒の割合を小学生は	画値を下回って	し、前回値を工 回ったが、中学 生の割合が増加	ロが増加し、計画値を下回って いる 毎年度対	る時間を持たない児童・生徒の	画値を下回って いる 毎年度小	画値を下回って いる 毎年度小	合は減少しているが、どちらも	画値を下回って	る時間を持たない場合・生徒の	
	内			たことをはじめ	画値も上回り、	度より、新学習	30.2%、甲字生は 46.7%に減らすこ	象学年ごとの調	し、計画値を下	象学年ごとの調	割合を小学生は	6・中3の対象	6・中3の対象	計画値を下回っ	6・中3の対象	割合を小学生は	
評	容	400 A	△評価の判断	「砂川市子ども	読書をしない中	指導要領が本格	とを目標としてい	査であり、経過	回っている。	査であり、経過	26.2%、中学生は34.7%に減ら	学年ごとの調査	学年ごとの調査	ている。毎年度	学年ごとの調査	24.2%、中学生	
		理日	由または指標	武書活動推進計 画」に基づき新	いる。平成24年	美旭となり、技 業時数が増加し	たが、小子生は 27.0%、中学生は 50.0%となってお	を見ることはできず、単年度ご	- 第1次砂川市子ども読書活動	きず、単年度ごとの結果になっ	すことを目標と	見ることはでき	見ることはでき	外も・中3の対 象学年ごとの調	見ることはでき	は20.7%に減ら すことを目標と	
価		0 5	実績値に関す	たな取り組みも	度より、新学習	たことも影響し	50.0%となっており、中学生は目標	との結果になっ	推進計画」の最	との結果になっ	していたが、小 学生は27.8%、	ず、単年度ごと	ず、単年度ごと	査であり、経過	ず、単年度ごと	していたが、小	
1Ш		ବା	自己分析	開始したか効果はまだ表れてい	指導要領が本格 実施となり、授	ているのではな いかと思われ	に達しなかった		終年だったが、 読書をする時間	ている。		の結果になって いる。	の結果になって いる。	を見ることはで きず、単年度ご	9、単年及こと の結果になって いる。	学生は27.8%、 中学生50.0%と	
				ない	業時数が増加し		が、小学生は目標 に達したことから		を持たない小学		なっており、ど ちらも目標には			との結果になっ	3 3 3	なっており、ど	
					たことも影響し ているのではな		ある程度の実績は		生の割合が減少 したことから、		達しなかった。			ている。		ちらも目標には 達しなかった	
					いかと思われ		あがっているた め。		一定程度の効果							が、乳児健診の	
					る。				があったと思わ							受診者へはブッ	
									れる。							クスタートの絵 本を配布してる	
																等一定程度の効	
		今後の方向	性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続	
				H25 :				H28 :				H30 :					
					から事業手段をと こととするが、学		ことから、現状 動を下支えする	第2次砂川市子と 校における誌書	も読書活動推進記 舌動を下支えせる	↑画の初年度である ための連携強化や	もことから、学 、 子ども詩書活					を下支えするため(≹環境の充実を図る	
	方向4	生の判断理由		ための連携強化や	や子ども読書活動:	ボランティアの養	成とその活動の	動ボランティアの	の人材育成と活用	た図り、子どもの	読書環境の充実	, こ 5 別 目 / 1 到 /	1.72747070				, ,
	改善、	改革の内容	Į.	場の提供等課題の		この課題解決に向]けた取り組みは	を図る。				1					
	(H25	, H28, H30)		一定性浸打つ(し													
												1					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	公民館主催事	業			事業期間	昭和	56 年度 ~	— 年度					
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第6期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業	3-2-1		 		所管課係	社会教育課文化学習係
目的 (何のために実施するのか)	地域課題や市民の設立や既存グルーできる機会を確保	学習ニーズに対り プ・サークルの し、地域課題の	応した講座・教室 活性化を図りなが 解決、市民の教養	・講演会を開設し ら、誰もが経済だ の向上や技術の習	して、継続的学習を 力等の境遇に左右も 習得につなげる。	そ行う新規グル されることなく	ープ・サークルの 公平に学ぶことの	手段 (どのような方法で 実現するのか)	地域課題や市民のにより受講案内で		・講演会を企画し 『ロ又は電話等で受		・オアシス通信・パンフレット等
対象 (誰・何を対象として いるのか)	一般市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	講座・教室・講派の習得の機会が研	多くの市民に参加	1してもらうことに	こより、地域課題の	D解決、市民の教養の向上や技術
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む	況・これまで の 2 む)				いる。 り、毎年内容の見	直しを行いな	がら現在に至って	いる。					

(単位:円)

[DO]

実績

						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	33カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 6 期
					第 1 年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第 9 年次 (31·R元年度)	第10年次 (R2年度)	実施 4 カ年 合 計	総合計画合計
	国		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計画額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
投	地	方	債	計画額				0				0					0	0
入				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
さ	そ	0	他	計画額				0				0					0	0
مد				予算計上額				0				0					0	0
れ				実 績 額				0				0					0	0
た	— A	设 財	源	計画額	566, 000	566, 000	566, 000	1, 698, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 248, 000	416, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 664, 000	4, 610, 000
				予算計上額	566, 000	566, 000	416, 000	1, 548, 000	416, 000	348, 000	416, 000	1, 180, 000	416, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 664, 000	4, 392, 000
事				実績額	492, 000	536, 000	408, 000	1, 436, 000	356, 000	166, 000	314, 000	836, 000	330, 000	268, 000	198, 000	130, 000	926, 000	3, 198, 000
業	事 業	費合	計_	計画額	566, 000	566, 000	566, 000	1, 698, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 248, 000	416, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 664, 000	4, 610, 000
				予算計上額	566, 000	566, 000	416, 000	1, 548, 000	416, 000	,	416, 000	1, 180, 000	416, 000	416, 000	416, 000	416, 000	1, 664, 000	4, 392, 000
費				実績額	492, 000	536, 000	408, 000	1, 436, 000	356, 000		314, 000	836, 000	330, 000	,	,	,	926, 000	3, 198, 000
の推		費予算 内容	草の		講師謝礼	講師謝礼	講師謝礼		講師謝礼	講師謝礼	講師謝礼		講師謝礼	講師謝礼	講師謝礼	講師謝礼		
移		度予算)比較 減理的			前年度同額	前年度同額	文化振興事業交付金移行分の減 ム150千円			公民館閉館によ る開催回数の減	前々年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額		
		とのb 減理b			講師を招聘したことなどによる。	市民大学講演会 の講師謝礼が安 価でできたため 3月補正 △34千円	執行残		礼の減 3月補正	市民大学講師謝 礼の減 3月補正 △182千円	市民大学講師謝 礼の滅 3月補正 △102千円		礼の減 3月補正	市民大学講師謝 礼の滅 3月補正 △148千円	礼の減	市民大学、公民 館講座・教室等 講師謝礼の滅 3月補正 △286千円		

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:公民館詞	構座等実施回数		指標の求め方:年	手度内に実施した	市民大学講演会、	公民館講座、公民	民館教室の開催回	数					
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:公民館詞	嘴座等受講者数		指標の求め方:な	公民館講座等受講	者数								
		活動指標 1 計画値	15	15	15		15	15	15		15	15	15	15		
	指	(単位/回) 実績値	12		15		10	11	16		14			_		
	標	成果指標 1 計画値	189		185		183	181	179		176	L				
		(単位/人) 実績値	218	212	255		277	253	438		377	299	344	161		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている					達成されている	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている				変わらない					変わらない	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価				普通である				普通である					普通である	
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析	数回の 動回の 対して 対して をが対して をが対して として として として として にとして にとして にとして にとして にして にいる にして にいる にして にいる にして にいる にして にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる	事 業 指 計 て 回 た 、 一 価 い る 者 内 の ら か の 高 か し が し し き の る か の も の も の も り し も り も り も り も り も り も り も り も り も	は施力をはないできます。は、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他ので	としていたところ、212人で目 ろ、212人で目標を上回ってて数 りが年度より減少 したため。	事は、 事業、 、が加 を はも、 はも、 はも、 はも、 はも、 はも、 はも、 はも、	岩十減少している。公民館閉館の影響はある。 受講者アンケー	は上まもるケ評業書の高いている。一価実施では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	は、上回ってに回る数が受講者の国を表示を選択を関する。事業業者の国接等とのではないになった。判断したため。	はおるつ向計でア容と はおるつ向計でア容と はぼり受いては値で大力で はで が で は で は で は で は で と き 、 一 に に で た に た に た に た に た た に た に た に た に	は回講はあをてケ評からは回講はあをてケ評かると、一価らいに傾、って講のい高、事であると、一価らいのは、のでは、一価らいのでは、一個らいのでは、	は計画たませい。は計画によるものでは、は計画で、対しませい。というでは、対していいでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対し	事業の実施回数は計画値を大幅に下回り、受講	は、上回っている。事業実施回数が受講者の増減の直接要因ではないと考えた	
		今後の方向性				縮小				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、		とにより、より刻	はなく、多様な主 効果的な事業の推 進事業を縮小する。	進を図ることがで	の提供を促すこ きると考えられ	を維持する方向で				の目的のため、現	見状を継続する方		める。受講者アン	" いるが、社会教育法 ッケート等を参考に	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	出張公民館事	業			事業期間	平成	23 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課文化学習係
目的 (何のために実施するのか)	公民館グループ・ ループ・サークル 習機会を確保する	の学習成果の地	し、公民館へ来館 域還元をすること	が困難な市民に対 によるグループ・	対して学習機会を扱 ・サークルの活性(是供できるよう とを促すととも	にし、公民館グ に地域における	手段 (どのような方法で 実現するのか)	公民館グループ から要請があれ!	・サークルで活動 ば町内会館等で講	している人材が主 座を開催すること	E体となり、市内東 に関する必要な調	・南・北地区コミ 月整を行う。	ミュニティセンターあるいは地域
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公民館への来館か	『困難な市民							公民館に来ること る。また、公民館 サークルの活性化	館グループ・サー	身近な場所で学習 クルの学習成果を	習機会があることを €地域還元すること	知ることにより。 を通して新規会員	学習活動に取り組む市民が増加す 員が加入するなどのグループ・
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む		平成23年度より	り事業実施に向けて	て意向調査・調整	等を行い、平成2	5年度より実施	施している。							

(単位:円)

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 6 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0	12, 000	12, 000	12, 000	12, 000	48, 000	48, 000
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0	6, 000	6, 000	6, 000	6, 000	24, 000	24, 000
			予算計上額				0				0					0	0
投			実 績 額				0				0					0	0
1X	地	方 債	計画額				0				0					0	0
入			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
2	そ	の他	計画額				0				0	25, 000	25, 000	25, 000	25, 000	100, 000	100, 000
ħ			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
た	- ;	般 財 源	計画額		49, 000	49, 000	98, 000	51, 000	51,000	51, 000	153, 000	8, 000	8, 000	8, 000	8, 000	32, 000	283, 000
車			予算計上額		0	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	204, 000	408, 000
7			実績額		0	8, 000	8, 000	51, 000	50, 760	50, 760	152, 520	50, 920	50, 760	50, 534	8, 635	160, 849	321, 369
業	事業	業費 合計	計画額	0	49, 000	49, 000	98, 000	51, 000	51,000	51, 000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	204, 000	455, 000
1889			予算計上額	0	0	51, 000	51, 000	51, 000	51,000	51,000	153, 000	51, 000	51, 000	51, 000	51, 000	204, 000	408, 000
賞			実 績 額	0	0	8, 000	8, 000	51, 000	50, 760	50, 760	152, 520	50, 920	50, 760	50, 534	8, 635	160, 849	321, 369
の推		美費予算の 内容			会場借上料	会場借上料		消耗品費	消耗品費	消耗品費		消耗品費	消耗品費	消耗品費	消耗品費		
)E										V /		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	V	V			
移	(■度予算と の比較 曾減理由)			前年度事業計画なし	平成25年度新規 計上		前年度同額(支 出費目変更)	前年度同額	前年度同額		前年度同額	前年度同額	前年度同額	前年度同額		
		長との比較 曽減理由)			増減なし	講座開催時の会 場借上料が必要 ないことによる 執行残		同額	執行残	執行残		執行残	執行残		事業が実施でき なかったため減 3月補正 △42千円		

活動	指標 1	(「手段」	をもとに設定)	指標名:講座開係	崔数		指標の求め方:年	F度内に開催した	講座の数								
成果	指標 1	(「成果」	をもとに設定)	指標名:参加者数	数		指標の求め方:슄	全参加者数									
	指	活動指標 (単位/請			3 0	3		3	3 1	3 4		3 6	3 10	3 4	3 0		
	標	成果指標 (単位/丿			30 0	30 147		30 76	30 14	30 123		30 135	30 303				
		事業の達 (活動指標	成度 票をもとに評価)				達成されていない				あまり達成されていない					ほぼ達成されている	
		事業の成 (成果指標	果票をもとに評価)				上がっていない				あまり上がってい ない					少し上がっている	
		事業の効 (事業費に	率性 こ対する成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価					大きな問題がある				普通である					普通である	
事務事業評価	評価内容	3	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析		握などを実現可 能性を研究する	取り組み、3講 座の実施となっ た。一定の成果		3講座が開催実 施となった。1 講座について は、定期的に活 動が継続されて	施となった。公 民館 (講師) か らの声かけ等で		は、おおむね好 評である。	6講座が開催実施となった。講座の内容に対する満足度の成果 の成果	施となった。講 座の内容に対す る満足度は高 く、一定の成果	施座の内に対するとなった。対するとの内度に対応の内度定のの内で、上げでいる。	きっかけ作り、 また、公民館グ ループ・サーク ルの学習成果を	は、おおむね好 評で、おり、まが た、プリ館ゲーク ルの学習成果を 地域還元する機	
		今後の方	向性				手段の見直し				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	生の判断理 改革の内 、H28、H3	內容	学習機会を持つる 催事業への参加者 するサークルがと ら、学習活動を対	計化の進行等の状況 にとが困難なな保 と数の減少やるい。 対していること 対してることでいるいけ検 はいる。 にいいけ検	が多くなってきて 館グループ・サー から明らかではあ 作るためにも、本	民館へ来場していることは、主クル活動を休止る。このことか 事業の実施が必	H28: 事業実施初年原体への周知、公員 財間希望がある。 体験活動機会の打	民館(講師)から ことから実施も可	能とした。継続的	。福祉施設への	いく。平成25年		始し、福祉施設へ	の慰問希望がある	が見学の機会の提会の扱いことから、実施も	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	公民館、郷土	資料室及び図	図書館施設整備	事業	事業期間	_	年度 ~ -	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規	建設・建設外	建設	第6期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	社会教育課文化学習係 図書館管理係
	公民館、郷土資料た生涯学習の拠点			ことにより、市	民一人ひとりの学習	冒ニーズや地域	課題の要請に応じ	手段 (どのような方法で 実現するのか)	定期的に施設の料低廉な費用で計画	犬態を点検・記録 画的な改修・管理	もし、施設本体、設 と行う。	设備又は備品等の 破	皮損・劣化頻度を持	把握しつつ、長期的視点から最も
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川市公民館、組	『土資料室及び図	書館					成果 (どのような効果が 得られるのか)	施設の機能に起	因した事故や苦情	がなくなる。			
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む		イラー補修工事、	平成6年度屋上	方水補修工事、₽	こついては、昭和56 内部改修工事、平成 多については、昭和	14年度放送設備	前改修工事、平成1	5年度温水ボイラー	改修工事、平成1	9年度トイレ改修	工事、平成21年度	西側外壁塗装等工	ニ事、平成2年度ス ニ事を実施した	ナイル配管改修工事、平成4年度ボ

[DO]

実績

				弗 1 次美施	3カ年計画			弗 2 次美麗	33万年計画			弟	3次実施4力年計	一		第 6 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(23年度)	(24年度)	(25年度)	合 計	(26年度)	(27年度)	(28年度)	合 計	(29年度)	(30年度)	(31·R元年度)	(R2年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額	1, 696, 000			1, 696, 000				0					0	1, 696, 000
		予算計上額	1, 696, 000			1, 696, 000				0					0	1, 696, 000
		実 績 額	1, 680, 000			1, 680, 000				0					0	1, 680, 000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
+n.	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
入		実 績 額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
2		予算計上額				0				0					0	0
h		実 績 額				0				0					0	0
70	一般財源	計画額	2, 988, 000	10, 629, 000		13, 617, 000	19, 759, 000	439, 328, 000	8, 782, 000	467, 869, 000	2, 181, 000	24, 731, 000	14, 930, 000	7, 295, 000	49, 137, 000	530, 623, 000
た		予算計上額	2, 988, 000	0	25, 800, 000	28, 788, 000	19, 759, 000	539, 807, 000	8, 610, 000	568, 176, 000	2, 181, 000	19, 994, 000	15, 965, 000	7, 304, 000	45, 444, 000	642, 408, 000
-		実 績 額	2, 781, 240	11, 942, 385	24, 465, 000	39, 188, 625	18, 252, 000	534, 695, 439	8, 104, 883	561, 052, 322	2, 268, 114	19, 882, 800	15, 121, 737	7, 181, 713	44, 454, 364	644, 695, 311
	事業費合計	計画額	4, 684, 000	10, 629, 000	0	15, 313, 000	19, 759, 000	439, 328, 000	8, 782, 000	467, 869, 000	2, 181, 000	24, 731, 000	14, 930, 000	7, 295, 000	49, 137, 000	532, 319, 000
業		予算計上額	4, 684, 000	0	25, 800, 000	30, 484, 000	19, 759, 000	539, 807, 000	8, 610, 000	568, 176, 000	2, 181, 000	19, 994, 000	15, 965, 000	7, 304, 000	45, 444, 000	644, 104, 000
		実 績 額	4, 461, 240	11, 942, 385	24, 465, 000	40, 868, 625	18, 252, 000	534, 695, 439	8, 104, 883	561, 052, 322	2, 268, 114	19, 882, 800	15, 121, 737	7, 181, 713	44, 454, 364	646, 375, 311
費				パネルヒーター			耐震改修等実施	耐震改修等工事	図書館児童書架		公民館放送設備改	公民館ボイラー更	図書館屋上防水改	図書館ダムウェーター改		
٥	事業費予算の		網戸購入 カーテン等修繕		改修(当初)		設計委託 (当 初)		改修工事、陶芸 窯更新、児童書		修工事(当初) 公民館キッズス	新工事、公民館備品 郷土資料室備	修工事・闭架書庫 移動式書架改修工	修工事・公民館避 難用垂直式救助袋		
0)	内容			網戸購入(当			(נעד		杰史利、汽里音 架備品		ペース備品(9月	品、図書館管理シ	事、郷土資料室備	更新・公民館備		
推			71 163 EX IM 4X 15	初)					N MM HH		補正)	ステム等購入	品、図書館備品	品・図書館備品		
74			改修事業等の内	改修事業等の内	改修事業等の内		改修事業等の内	改修事業等の内	改修事業等の内		改修事業等の内	改修事業等の内	改修事業等の内	改修事業等の内		
移	前年度予算と	:		容が異なること				容が異なること			容が異なること					
	の比較 (増減理由)		による減少	による減少	による増加		による増加	による増加	による減少		による減少	による増加	による減少	による減少		
	(增減生田)															
			入札、見積もり	パネルヒーター改	入札による減		入札による減	入札による滅	入札による減		入札による減3月	入札、見積もり合	入札減3月補正△	入札減3月補正		
	実績との比較	,	合わせによる減	修箇所増分の増、 6月補正12,831千				移動ステージ、オーブ ンレンジ等 6 月補正			補正△129千円、	わせによる減3月	839千円他、見積	入礼滅3月補正 △113千円他、 見積もり合わせ		
	(増減理由)			円、3月補正口				5,627千円パネルヒー ター、擁壁等3月補正			公氏郎ヤツススペース備品9月補	畑エム420十円、 図書館備品3月補	」もからわせによる 減、執行残。	見積もり合わせ による減、執行		
			140/TH	1,017千円				1,608千円			正217千円	正315千円		による減、料仃 残。		
						l				j .					l l	

(単位:円)

活動	指標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:開館日姜	数		指標の求め方:な	公民館の開館日数									
成果	指標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:施設機能	能に起因する使用	不能件数	指標の求め方:年	F度内における施	設機能が起因して	使用できない件数	女をカウント						
	指標	活動指標 1 計画值 (単位/日) 実績値 成里指標 1 計画値	360 360	359 359	359 359		359 359	360 207	359 359		359 359	359 356	360 359	359 315		
	175	成果指標 1 計画値 (単位/件) 実績値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0		
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている					達成されている	
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				上がっている					上がっている	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				少し上がっている					変わらない	
		総合評価	4 = A E	4 = 0.15	4 = 0.15	普通である	4 = 0 K	0 Is	4 = 1 L	良好である	015	4 = 0 K	4 7 0 15	0 IS	普通である	
事務事業評価	評価内容		設以来30年を経	損や故障が増大	朽化に伴い、破 損やな時で でいる。 は でい 調設 側が は 変 き れた。 が 整 え ら れた の き の き の き の き の ま の ま の ま の も の ま り れ た り た り た り れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ た ら れ と ら と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ	判施朽進とな課でな改最能れ断というにより、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	朽化に伴い、破 損や故障が増え ている。耐震改 修等工事に向 け、実施設計を	を行い、耐震、 老朽化した施 設・設備が整え られた。公民館 閉館中のグルー プ・サークルの	耐の進端では、大学の主には、大学の主には、大学の主には、大学の主には、大学のは、保持の上では、大学のには、大学のには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学の主にはいる。	耐を発生を表している。 おります ままい おります おります おります おります おります おります おります おります	後の維行書保持いはえいない。このは、このは、このは、にないのは、は、にないのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	後の維行書保持い、保持つ館守をでいる。 、保持つ館守をでいる。 は、定にでは期間では、 は、では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	後の維行書保持いは、、保持っ館守を、、保持っ館守を、、でいるい機能ののでは、というでは、いたのに、は、のに、は、のに、は、のに、は、のに、は、のに、は、のに、は、のに、は	後の維行書保持いはえ、保持では、このは、では、では、のは、では、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	い、耐震、老朽 化した施設・設 備が整えられ、 また、計画的な	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	生の判断理由	所の把握に努めて	ているが、予想し た、公民館の耐震	◆ ながら、必要とな ていない箇所の故 強度が不足してい	障や破損が散見	定していない。方	参等工事を行った をだし、隣接する 施設・設備の点	図書館が建設以来	30年以上経過し	は必要であり、言 また、郷土資料 ら、全面的な改修 図書館について	↑画的に行ってい 料室内展示につい §を検討して行く	く。 ては、昭和56年の 。 0年以上経過して	開設以来大規模な	定していないが、 改修・修繕を行っ 、施設・設備の定	っていないことか

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	図書館開館時	間延長事業			事業期間	平成	8 年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係
	通常の開館時間 民の利便性向上に)に図書館の利用	が困難な市民にタ	付して、図書館の間	開館時間を延長 [・]	する日を設け、	市 手段 (どのような方) 実現するのか)	で 毎週水曜日及び	「金曜日(祝日を除	く)の開館時間を	- 20:00まで2時間	延長。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	通常の開館時間に	図書館の利用が	困難な市民。					成果 (どのような効! 得られるのか)	開館時間を延長がきる。	することにより、	その時間帯におけ	・ る来館者・貸出か	〈増加し、図書館(の利用機会の拡大を図ることがで
事業開始時の 状況 経緯(行革内容含む		平成8年度より、	生涯学習社会の到	削来を迎え、市民	に親しまれ利用し	.やすい施設づく	くりの一環とし	で市民の学習意欲	二応える様、一律午	前10時から午後6	時までだった開館	"時間を水・金の過	2日間、午後8日	寺までの開館に変更した。

(単位:円)

[DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	十画		第 6 期
					第 1 年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年合計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31年度)	第10年次 (32年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国		費	計画額	, , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , ,	0		, , , , , , ,	, , , , , ,	0	, , , , , , , ,	, , , , , , ,	, , , , , , ,	, , , , , , ,	0	0
				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
	道		費	計 画 額				0				0					0	0
				予算計上額				0				0					0	0
投				実 績 額				0				0					0	0
12	地	方	債	計画額				0				0					0	0
入				予算計上額				0				0					0	0
				実績額				0				0					0	0
2	そ	の	他	計画額				0				0					0	0
れ				予算計上額				0				0					0	0
				実 績 額				0				0					0	0
<i>t</i> =	I-	般 財	源	計画額	1, 764, 000	1, 764, 000	1, 764, 000	5, 292, 000	1, 776, 000	., ,	1, 776, 000	5, 328, 000	1, 788, 000			, ,	7, 152, 000	17, 772, 000
事				予算計上額	1, 764, 000	1, 800, 000	1, 800, 000	5, 364, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	5, 328, 000	1, 788, 000	1, 812, 000	2, 335, 000	2, 765, 000	8, 700, 000	19, 392, 000
7				実績額	1, 764, 000	1, 800, 000	1, 794, 000	5, 358, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	5, 328, 000	1, 788, 000		2, 314, 340	2, 651, 622		19, 251, 962
業	事	業費合	計_	計画額	1, 764, 000	1, 764, 000	1, 764, 000	5, 292, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	1 1	5, 328, 000	1, 788, 000	1, 788, 000	1, 788, 000	1, 788, 000	7, 152, 000	17, 772, 000
2005				予算計上額	1, 764, 000		1, 800, 000	5, 364, 000	1, 776, 000	1, 776, 000		5, 328, 000	, ,			2, 765, 000	8, 700, 000	19, 392, 000
費				実績額	1, 764, 000	, ,	1, 794, 000	5, 358, 000	1, 776, 000	1, 776, 000	, ,	5, 328, 000	, ,		, ,	, ,	8, 565, 962	19, 251, 962
の推	事業	業費予算 内容	章の		司書報酬	司書報酬	司書報酬		司書報酬	司書報酬	司書報酬		司書報酬	司書報酬	司書報酬	司書報酬及び 期末手当		
移		年度予算 の比較 曽減理日				司書報酬の増額			司書報酬交通費 の減額	前年度同額	前年度同額		司書報酬の増額	司書報酬の増額	数増による増額	による増額		
	実組(出	漬との比 曽減理日	七較 由)		同額	司書報酬の増額	司書報酬交通費 の減額		同額	同額	同額		同額	同額	勤務日数減(病 欠)による減額	時間外未執行に よる残		

活動					指標の求め方:年度内に夜間開館を実施した日数をカウント												
			をもとに設定)	指標名:夜間開館	官時市民貸出冊数		指標の求め方:夜間開館時に市民に貸出した冊数										
	指	活動指標	1 計画値				99 98 97 96				98 91						
	標	成果指標		1, 079	1, 086	1. 092		1, 097	1, 103	1, 107		1, 112	96 1, 116	1, 119	1, 122		
		(単位/用	田 実績値	3, 382	3, 413	3, 939		4, 052	2, 395	2, 158		2, 892	2, 658	2, 524	1, 010		
		事業の達 (活動指	成度 票をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					ほぼ達成されている	
		事業の成 (成果指	:果 票をもとに評価)				上がっている				あまり上がってい ない					あまり上がってい ない	
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない					あまり上がってい ない	
		総合評価					良好である				普通である					普通である	
事務事業評価	評価内容			が生確の記述を 生確の記述を を を で で で で で で で で で で で で で	平成8年度より 事業を開始し、 市民に一定程度 定着してきている	が生確の記録を 難学す義年標本 を記述を を記述を を記述を にして を記述を にして を記述を にして にして にして にして にしい にしい にしい にしい にしい にしい にしい にいい にい	に年す度のし出て1出お度るの来で冊お人冊お見るの来で冊お人冊おと1館い数り当なり、とをは、別になった。 いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	生確の平事市定るの冊が関係本高は関係を選択を開始でするは度開一てきた。1世紀の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の日間の	が生確の平事市定るののを業、り、度い は要はでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 は変いでは、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし	が生確の平事市定る。 が生確の平事市定る。 数学す義年開一て児 は度始定き童 にし※ にしき童 にして にせき にして にせき にせき にせき にはといる。	にお度な記録 年度を登ります。 日本 におります。 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	が生確の夜民数回成業を開発するは館出作を開発を習るは館出をある。 民会事くにた上。 り、民会事くにた上。 り、民会事とにた上。 り、民会事とにた上。 り、日のを業、市冊 平事市	回っている。平	が生確の夜民数回夜出年で、経本高時したよが、日本高時による時数減減を高いている。というでは、大きないのでは、またないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、またないのではないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのでは、またないのではないのでは、またないのではないでは、まないのではないでは、またないではないでは、まないではないではないではないではないでは、まないではないでは、まないではないではないでは、まないではないでは、まないでは、まないではな	が生確の夜民数間し度となった。大きな習るは館に計開たよいでは、大きなではいいできません。 にんび貸前にははいいできません はいい はいい はいい はいい はい はい はい はい はい はい はい はい	に年すので計画といいた。 にお度る貸い画と、定 を選挙をはいので計画といいでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	
		今後の方	向性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	生の判断3 、改革のグ 5、H28、H	里由 内容	継続したいという ることから、事業	に対して認知されで う方針ではあるが、 業実績の動向に注 いる環境などを総	一部に事業の拡 視しつつ、地域の	大を望む声もあ 就業時間帯や図	H28: 事業が利用者(継続していく。	こ対して認知され	てきていることか	ら当面は事業を	H30: 事業が利用者I	- に対して認知され	てきていることか	ら当面は事業を総	*************************************	

[PLAN]

事務事業の目的と成果

事 業 名	図書充実事業	1			事業期間 昭和 58 年度 ~ -			~ — 年度	年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第6期総合計画 の位置付け	3-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	図書館管理係			
目的 (何のために実施するのか)										利用者ニーズや図書の発刊の状況、蔵書の構成や図書の利用状況を見据え、計画的に図書等を整備し、適正に整理・保存できるようにしたうえ、これらに関して分かりやすく案内・提供するとともに、利用者等からの相談に応じる。							
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民一般、団体							成果 (どのような効果が 得られるのか)	より多くの市民る。	に利活用されるよ	うにすることによ	らり、市民の教養の の)向上や地域課題(の解決に繋がる糸口が見いだされ			
事業開始時の 状況・これまで の 経緯 (行革内容含む) 昭和57年度の図書館の開館と同時に事業を開始。																	

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	63カ年計画		第3次実施4カ年計画						
				第 1 年次 (23年度)	第2年次 (24年度)	第3年次 (25年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (26年度)	第5年次 (27年度)	第6年次 (28年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (29年度)	第8年次 (30年度)	第9年次 (31年度)	第10年次 (32年度)	実施4カ年 合 計	第 6 期 総合計画 合 計	
	国	費	計 画 額				0				0					0	0	
			予算計上額				0				0					0	0	
			実 績 額				0				0					0	0	
	道	費	計 画 額				0				0					0	0	
			予算計上額				0				0					0	0	
投			実 績 額				0				0					0	0	
权	地 方	債	計 画 額				0				0					0	0	
入			予算計上額				0				0					0	0	
			実 績 額				0				0					0	0	
2	その	他	計 画 額				0				0					0	0	
h			予算計上額				0				0		325, 000	1, 000, 000	1, 000, 000	2, 325, 000	2, 325, 000	
.,0			実 績 額				0				0		324, 918	998, 294	1, 005, 260	2, 328, 472	2, 328, 472	
た	一般財	源	計 画 額	4, 546, 000	4, 546, 000	4, 546, 000	13, 638, 000	4, 534, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	13, 652, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	18, 236, 000	45, 526, 000	
事			予算計上額	4, 529, 000	4, 516, 000	4, 528, 000	13, 573, 000	4, 534, 000	4, 544, 000	4, 535, 000	13, 613, 000	4, 547, 000	4, 533, 000	4, 543, 000	4, 546, 000	18, 169, 000	45, 355, 000	
7			実 績 額	4, 489, 765	4, 513, 957	4, 531, 511	13, 535, 233	4, 530, 587	4, 538, 658	4, 527, 602	13, 596, 847	4, 533, 327	4, 527, 377	4, 545, 635	4, 538, 051	18, 144, 390	45, 276, 470	
業	事業費合	計	計 画 額	4, 546, 000	4, 546, 000	4, 546, 000	13, 638, 000	4, 534, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	13, 652, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	4, 559, 000	18, 236, 000	45, 526, 000	
-44-			予算計上額	4, 529, 000	4, 516, 000	4, 528, 000	13, 573, 000	4, 534, 000	4, 544, 000	4, 535, 000	13, 613, 000	4, 547, 000	4, 858, 000	5, 543, 000	5, 546, 000	20, 494, 000	47, 680, 000	
費			実 績 額	4, 489, 765	4, 513, 957	4, 531, 511	13, 535, 233	4, 530, 587	4, 538, 658	4, 527, 602	13, 596, 847	4, 533, 327	4, 852, 295	5, 543, 929	5, 543, 311	20, 472, 862	47, 604, 942	
の 	事業費予算 内容	草の		図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費			図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費		図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費	図書購入費 雑誌等購入費			
推移	前年度予算 の比較 (増減理由				購入予定雑誌等 の変更による減			消費税増税分の 増	購入予定雑誌等 の変更による減			購入予定雑誌等 の変更による増	購入予定雑誌等 の変更による減	寄付金による増	購入雑誌単価変 動による増			
	(増減理E 実績との比 (増減理由	比較		の刊行回数が少	不定期刊行雑誌 の刊行回数が少 なかったため			購入雑誌等の刊 行時の単価変動 による増	の刊行回数が少			不定期刊行雑誌 の刊行回数が少 なかったため	寄付金による増	寄付金、購入雑 誌等の刊行時の 単価変動による 増	の刊行回数が少			

(単位:円)

						指標の求め方:1年度間の貸出冊数											
成果					指標の求め方:	1年度間に寄せら	れる苦情件数										
		活動指標		72, 000	72, 000	72, 000		72, 000	72, 000	72, 000		72, 000	72, 000	72, 000	72, 000		
	指	(単位/f	入根框	72, 263	67, 477	75, 496		74, 971	67, 133	66, 172		66, 502	63, 794	63, 592	47, 646		
	標	成果指標 (単位/f		0	0	0		0	0	0		0	0	0	0		
		事業の達	人根尼	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0		
			標をもとに評価)				あまり達成されていない				あまり達成されていない					あまり達成されていない	
		事業の成 (成果指	記果 標をもとに評価)				少し上がっている				少し上がっている					変わらない	
		事業の効 (事業費))率性 に対する成果)				変わらない				変わらない					変わらない	
		総合評価					普通である				普通である					普通である	
事務事業評価	評価内容			エストに応える など、利用者して ニーズに対し は最大限配慮し た事業の推進を	エストに応えるなど、利用は大限配は大限配進を大限の推進を行っている。	エなニはまなことは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	は256.3冊で 5.3%程度減、少 しているが、たり 館者出冊が、たり の貸並みでした 者に対して、の 者に対して、の 者に 対して、の を を で で で の を を の を を の の の の の の の の	貸工なニはた行回冊がこれではた行回冊がこれではた行回冊がこれではたが、ズ大東等でたち増いいりにが増れるのがりのでも増いまったがあるには、一段をはいいがある。	エスピー 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	児童書架改修工 事により8月30 日~9月15日ま	日当たりの貸出 冊数は239.7冊 で、10.2%程度 減少している が、7~11月の 公民館耐震改修	など、利用者 ニースに 最大限のは ま業で配 を で で で に で い で の の い の の い の の に り の い の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り に り	エスピースという。	な二最事行間年の3%いが登場では、一大学のでは、1000年の1000年	エなニ最事行年前25.0x新イン・大なニ最事行年前25.0x新イン・大阪のでは、1%のでは1%のでは1%のでは1%のでは1%のでは1%のでは1%のでは1	日当は231.9冊 は231.9冊 で4.0%程度が、 りでしてしての場合というの の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 の年を持ちます。 のの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 ののの年をはない。 のの年をはない。 のの年をはない。 ののの年をはない。 ののの年をはない。 ののの年をはない。 のののではない。 ののでは、 ののでは、 のので。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のので。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の。 ののでは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	
		今後の方	i向性				現状のまま継続				現状のまま継続					現状のまま継続	
	改善、	H25: 読書ニーズや地域課題を把握し、市民にとって 取組を進めている。 事、改革の内容 25、H28、H30)			. 市民にとって利	# 用価値が高まる	H28: 読書ニーズや地域課題を把握し、市民にとって利用しやすい読書 環境を整えていく。					・地域課題を把握し	、市民にとって利	■日しやすい読書現	環境を整えていく。		